

平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

1. 「チームさやま」として頑張る生徒を全力で応援し課題を抱える生徒をトコトン支える熱い学校（卓越性と公平性の追求）
2. 自分の夢に向かって自発的に学習し、仲間と共に積極的に部活動・学校行事に参加するバランスのとれた生徒の育成
3. 規律正しい生活習慣・学習習慣を確立し、あいさつ、掃除（整理整頓）、時間厳守（遅刻減少）をさらに向上させるとともに、他者へ思いやりのある生徒の育成（笑顔あふれる綺麗な学校）
4. 国際交流（姉妹校連携）と地域連携（大阪狭山市唯一の高等学校）の双方に軸足を置いた Glocal High School を推進し国際感覚を備えた地域に貢献できる若きリーダーの育成
5. 元気でたくましい生徒があふれる「明るくさわやかな学び舎」「安全・安心の学び舎」づくり

2 中期的目標

1.さらなる学力向上と進路保障

(1) 新学習指導要領に則して思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりに取り組む。

ア.アクティブラーニングの推進、調べ学習・グループワークを取り入れ議論を通じて思考力・判断力・表現力を向上させる。

* 思考の発芽（図書館・インターネットの活用）、思考の見える化（カードやホワイトボードの活用）、思考のゆさぶり（発表 / 質問 / 議論 / 教師のアドバイス）
講義型授業から思考を引出しさらなる高みの授業へ転換する。

イ. タブレット端末を含む ICT の活用により生徒の興味・関心を引き出すとともに教員と生徒及び生徒同士でキャッチボールができる双方向の授業を行い
真の理解をめざす質の高い授業を行う。

ウ. 進路別授業、実験・実習の充実により全教科でわかる授業を展開する。

(2) 第一志望を実現する進路指導を進め、個別指導、家庭学習指導の充実を図ることで、夢がかなう進路保障に結び付ける。

ア. 生徒の進路希望を尊重したカリキュラムマネジメントを行い主体的な学びや意欲的な学びを引き出す。

イ. 大学入学共通テスト（新テスト）に向けて国語・数学における文章題および英語の外部テストに対応する。

ウ. 受験用学習教材や模擬テストを活用し3年間を通じた客観的な学力把握と精度の高い受験指導を行う。

エ. 早朝、放課後の講習・補習及び長期休暇中の学習イベントにより「わかる・できる」を体感させる。

生徒向け学校教育自己診断「授業満足度」（平成 30 年度 65.1%）、「授業の工夫」（平成 30 年度 78.1%）、「カリキュラム満足度」（平成 30 年度 72.3%）

を 2021 年度に 80%に向上する。

進路ガイダンス/進学講習の充実（平成 30 年度 79.8%）を 2021 年度に 80%に向上する。

国公立・有名私立大学合格のべ 100 名以上（看護・医療系、公務員等一人ひとりの目標に対する指導を含む）

2.キャリア教育のための環境づくり

(1) 夢をえがく力、夢をかなえる力を養成し将来に向かって飛躍できるプログラムを展開する。

ア. 「探求」「道徳教育」を充実させ将来を見据えた人格形成を促す。

イ. 地域連携、国際交流を通じて人とのかかわりを体験させる。

ウ. 将来の生き方を見据えた「進路」を決定するために必要なプログラムを準備する。

エ. 読書活動を推進する（ビブリオバトルをさらに活性化させ読書の質と量の向上を図る）。

(2) 互いの違いを認め合う人権尊重意識の向上に取り組む。

ア. すべての生徒に基本的人権や人権問題の認識を広め高い人権意識を育てる。

(3) 学校生活の充実に向けた体制作りに取り組む。

ア. 学校としての相談体制を明確にするとともに、学年団（担任）及び部活動における相談体制を確立する。

イ. クラブ部活動、生徒会活動等の活性化と参画の継続を図るとともに、退部した生徒のフォローに努める。

生徒向け学校教育自己診断「学校生活満足度」（平成 30 年度 78.2%）、「相談体制満足度」（平成 30 年度 72.1%）を 2021 年度に 80%をめざす。

3.学校改革に向けての盤石な体制づくり

(1) 教職員全員が参加する「チームさやま」体制を発展させる。

ア. 新学習指導要領及び大学入学共有テストに対応するカリキュラムマネジメント及び AL 授業推進に向け教職員全体で取り組む。

イ. 安全・安心の学び舎づくりの為、人権意識を高め、いじめ・体罰「0」を継続するために教員研修を実施するとともに、適切な対応を行う。

ウ. 事態対処の事例研究により、教員のノウハウを伝承するとともに人材育成を行う。

エ. 創立 40 周年記念事業を成功させる。

オ. 「文化部フェスタ」等の実施により地域の中学生や市民の方々に狭山高校の魅力発信し学校と地域の交流を深める。

(2) PTA、同窓会等活動の活性化に取り組む。

(3) 学校運営協議会の提言を具現化する。

教員向け学校教育自己診断【学校運営の勤務充実度】（平成 30 年度 86.8%）を 2021 年度に 90%にする。

保護者向け学校教育自己診断【学校満足度】（平成 30 年度 88.8%）を 2021 年度に 90%にする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年1月実施分]	学校運営協議会からの意見																								
<p>1. 授業</p> <p>令和元年度・学校教育自己診断アンケートの授業に関する質問項目 授業の工夫で肯定的な答えをした割合は、過去5年間概ね上昇して今年は83.9%と初めて80%を超した。これはICT機器の活用および主体的・対話的で深い学びを取り入れる等、教員の授業改善の努力が伺える。また、期待に応える授業も昨年60%台に落ちたが一転して前年比12.4p上昇して77.5%と過去最高に達した。興味・関心・適正・進路に応じたカリキュラムも5.4p上昇し77.7%となった。(下記一覧表)。今年度は、授業アンケートの教員平均値が第1回3.19、第2回3.22と過去最高を記録しておりアクティブラーニング型の研究授業を全教科で実施する等、継続して授業改善に取り組む教職員の姿勢が反映している所作である。狭山高校生の学力向上に資する組織的・継続的な授業改善努力が、育てたい生徒に合致して学力向上・進路実現に繋げるようチェックしながら今後を生かしていきたい。</p> <p>質問項目に1強く思う、2思うの合計比率(単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="153 795 814 952"> <thead> <tr> <th>肯定的な比率</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業の工夫</td> <td>70.5</td> <td>73.5</td> <td>78.9</td> <td>78.1</td> <td>83.9</td> </tr> <tr> <td>期待に応える授業</td> <td>62.2</td> <td>62.2</td> <td>73.1</td> <td>65.1</td> <td>77.5</td> </tr> <tr> <td>カリキュラム</td> <td>67.7</td> <td>67.7</td> <td>76.7</td> <td>72.3</td> <td>77.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>新学習指導要領に則して、思考力・判断力・表現力を養成するアクティブラーニング型の授業実践を高めていく。次年度はさらに外部環境変化に対して「チームさやま」として組織的に授業改善に取り組む。</p> <p>2. 進路</p> <p>進路に関する質問では、考える機会の充実と自己実現の取り組みを問うたが、進路分野別説明会や職業ガイダンス、大学見学等進路を考える多様な行事や模擬テストの校内実施や幹旋により生徒一人ひとりのニーズに合ったキメ細やかな進路指導の結果動機づけの部分「進路を考える機会が充実している」の質問に81.9%(+6.3p)の肯定的な結果となった。生徒の努力指標である「自己実現の取り組み」も年々増加傾向にあり75.4%(+2p)と増加した。進路実現の取り組みの中でも生徒の約70%が四年制大学を志望することから、校内模試を充実させデータに基づく進路指導を志向するために学校の枠を超えた多くの受験生の中で自己の学力を把握したうえで「将来の夢を実現する」一貫性のある進路指導」を推進して行く。</p> <p>3. 高校生活</p> <p>(1) 高校生活の充実度(生徒同士、先生と生徒の関係)</p> <p>「狭山高校での高校生活は充実しているか」の問いに対して83.3%の生徒が肯定的な回答をした。H29.77.6% H30.78.4%と R1.83.3%と年々増加傾向を示しており、充実した高校生活を過ごす過程で学力・知力・徳力を伸ばし高い意識で希望進路を実現させる取り組みをさらに進めて行く。教職員全員で、生徒を鍛え励まし 伸び率(成長率)NO1を合言葉にサポートする体制をさらに高めることで、高校生活の充実度80%超を維持向上したい。生徒同士で「友好的な人間関係を構築できているか」の問いに対して92.9%が肯定的な回答を示した。例年85%~90%で高位安定しており落ち着いた校風を表している。他方、「先生は親身に相談に応じているか」の問いには68.1%(-5.3p)の肯定的意見に止まり、生徒の高校生活に対する満足度が増加していることに反して若干の減少となり他の数値が概ね向上している中、課題を残した。教員全体で相談体制の改善を図りたい。(H29.67.2% H30.73.4% R1.68.1%)</p> <p>(2) 学校行事</p> <p>本校は生徒会ならびに文化祭・体育大会実行委員会を中心に生徒主体の学校行事を運営しており、「学校行事に楽しめる工夫がされているか」84.1%(+4.6P)がそう思うと答えている。生徒会部の教員のサポートもあり内容が充実している証左である。しかしながら、文化祭においては誰でもフリーで来校できる事がトラブル発生の懸念がある、との一部からの指摘があり学校運営協議会においても議論頂いたが、教職員・PTAが協力して見回りを強化して、地元中学生や近隣住民まで多くの来場者に来てもらえる開かれた文化祭を継続して実施する方向で決着した。また、多彩な競種目をそろえた体育大会、クラスマッチ(球技大会) さやかホールで行われる文化クラブ発表の場である文化部フェスタ或いは読書推進の一環であるピリオパトル(書評大会) 英語スピーチ大会等狭山高校独自の行事も多く、楽しい行事と共に教育的な目的にかなう行事も多い。</p> <p>(3) クラブ部活動</p> <p>クラブ活動において「積極的に取り組んでいるか」の問いに対して69.4%(+1p)がそうしていると答えている。運動系・文化系合わせて約80%の入部率から観るとやや物足りないが、5年間の推移を見ても横ばいであり対外試合や発表会を通じて、多くの成功体験を積ませることとクラブ活動でしか経験できない</p>	肯定的な比率	H27	H28	H29	H30	R1	授業の工夫	70.5	73.5	78.9	78.1	83.9	期待に応える授業	62.2	62.2	73.1	65.1	77.5	カリキュラム	67.7	67.7	76.7	72.3	77.7	<p>多様な人間関係を学ぶことは、将来、社会人になった時に大きな財産になるので部顧問の教職員および外部指導員の方々の協力を得て、さらに部活の発展・充実に注力し生徒の肯定的評価70%以上をめざす。</p> <p>(5) 国際交流</p> <p>本校は豪州のCarey校と韓国の景福高校の2校との姉妹校提携を軸に国際交流を実施しており毎年相互訪問による親善交流を実施している。今年度は豪州Carey校が10月7日に来校し授業やクラブ活動で交流した。また、7月15日から韓国の景福高校でスタディーツアーを実施。日韓の政治情勢が影響を与えるのでは、心配したが懸念された事案もなく例年通りの交流ができ親交を深めた。生徒の感想を聞くと授業交流並びにホームステイを通じて親善・異文化理解の点で意義深いものであった。国際交流に関する意識は73.5%(+7p)が肯定的なものとなり、年々向上している。</p> <p>(6) 地域ボランティア</p> <p>狭山池まつりの舞台部門の参加・運営に全面協力すると共に、狭山池のクリーンキャンペーンには16年間続けて積極的に協力しており、年々生徒のボランティアに対する意識は高まっている。65.6%(+13.9p)は5年間増加傾向にあり参加者の増加と共に増えている。大阪狭山市唯一の高等学校であり、今後とも生徒の自主的な地域連携を積極的に支援したい。</p> <p>学校運営協議会からの意見</p> <p>第1回学校運営協議会(令和元年6月25日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年度入りし、新年度の学校経営計画を説明するに先立ち学校経営計画に関する件(めざす学校像及び中期的目標)は学校運営協議会で承認された。 ・また、設立40周年の年であり記念事業の内容(記念式典ならびに教育設備等充実計画について説明しアドバイスをいただいた。40周年記念事業実行委員会を中心に同窓会ならびにPTAのご支援を頂き順調に進んでいる。10月26日には記念式典を挙行予定であり教育設備も学校食堂のリニューアル(内装工事と空調機設置)やICTを活用した授業に資するWifi環境の刷新、クラブ活動支援等のご支援を約束して頂いている旨を報告し了承して頂いた。 ・質疑応答 <p>Q: 2年生から女子生徒の比率が高くなっているそうだが、何か要因は?</p> <p>A: 2年前から制服を刷新して女子の人气が上がっていると考えられる。女子が増加したことによりトイレの改修等が急がれるが今順番待ちの状態です。</p> <p>Q: 教員の働き方改革が世間で話題になっており、特に部活動顧問の勤務状況や教員全体の超過勤務はどうですか?</p> <p>A: 教員の超過勤務は全日制の府立学校の平均値より1ヵ月あたり3時間少なく順調に推移しています。また、水泳部や吹奏楽部等の付き添いが大変なクラブには人数を多く配置すると共に生徒に負荷がかからないようにNOクラブデーの着実な実施を励行しています。</p> <p>第2回学校運営協議会(令和元年12月11日)</p> <p>Q: 来年度狭山高校の募集定員は1クラス減の6クラスになりましたが、塾ではどう捉えられておりまた中学生はどう思っていますか?(学校)</p> <p>A: 富田林高校は3クラス減りお隣の堺東も1クラス減っています。富田林は内部進学の事情もあり合格者のレベルは上がると思う。ただ狭山や堺東は例年と変わらないと予想している。近隣の私学である初芝立命館の人气が高まってきており今後さらなる特色づくりと広報活動が求められます。(委員)</p> <p>Q: 地元中学生へのアピールや地域交流の点で本校の文化祭の入場はフリーですがトラブルの排除の観点から招待性(チケット制)にしてはとの意見がありますがいかがですか?(学校)</p> <p>A: 招待制の高校は来場者が少なく、在校生が寂しい思いをしたと聞く。警備が課題であれば教員とともに保護者に巡回を依頼してはどうか。保護者・卒業生・中学生に限定する方法も考えられるが、入場時のチェックが煩雑になり余計に手間がかかるだろう。地域性を考慮すれば巡回を強化して現状のままが良いと思う。(委員)</p> <p>第3回学校運営協議会(令和2年2月19日)</p> <p>令和元年度の振り返りとして学校経営計画の進捗及び40周年記念事業の報告等を行い学校教育自己診断アンケートの今年度の結果を経年変化と共に説明を行った。また、令和2年度学校経営計画(案)の「めざす学校像」と「中期的目標」を説明し了承された。質疑応答では、授業力向上、文化祭・体育祭等の学校行事と地域交流、国際交流、進路実績、生徒指導、中学生の志願者動向、新型コロナウイルス対応に関して現状を理解いただき有意な助言を得た。特に、私塾関係の委員から中学生の志願動向(私学先願率の向上、公立にはない一部生徒への奨学生度、学区撤廃の影響、多くの卒業生を配する中学校へのアプローチ等)に関して今後の学校経営に資する戦略的助言をいただいた。</p> <p>今回の学校運営委員会の助言に基づき、令和2年度は、狭山高校の将来に向けて進学実績向上委員会を立ち上げ、充実した高校生活と希望進路実現に邁進する取り組みに挑戦する。</p>
肯定的な比率	H27	H28	H29	H30	R1																				
授業の工夫	70.5	73.5	78.9	78.1	83.9																				
期待に応える授業	62.2	62.2	73.1	65.1	77.5																				
カリキュラム	67.7	67.7	76.7	72.3	77.7																				

本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 さらなる学力の向上及び進路の保証	<p>(1) 生徒が主体的に学べる充実した授業の実現に取組む。</p> <p>ア. グループワーク導入による協同的学び、発表能力の向上</p> <p>イ. ICTの活用による教員と生徒の対話の実現及び授業の効率化</p> <p>ウ. 少人数展開、進路別授業等同質集団による授業の質の向上</p> <p>エ. アクティブ・ラーニング型授業の推進</p> <p>(2) 個に応じた希望進路の実現</p>	<p>(授業力の向上)</p> <p>ア. グループワークを取り入れ、少人数で協同作業、討論を行うことにより生徒の思考力・判断力・表現力向上させる。</p> <p>イ. タブレット端末を含む ICT を活用することで生徒の興味・関心を引き出し、教員と生徒がキャッチボールしやすい環境をつくる。また、プロジェクター、黒板、プリント等をバランスよく用いて集中力を持続させ、授業第一主義で臨む。</p> <p>ウ. 少人数展開、進路別授業で理解度を向上させる。また、実験・実習を充実させ経験値を上げることで理解度を向上させる。</p> <p>エ. アクティブ・ラーニング型授業を推進する。ノウハウ・教材を共有することで職務の効率化を図る。</p> <p>ア. 3年間を通じた進路指導により進路に対する意識を高め第1志望につながる学びに結実させる。</p> <p>イ. 進路講習・補習・8時間耐久勉強会を充実させる。</p>	<p>【 】は学校教育自己診断による そう思う/どちらかといえばそう思うと答えた肯定的意見の%を表示</p> <p>【授業満足度 70%】 (平成30年度65.1%):生徒</p> <p>【授業工夫 80%】 (平成30年度78.1%):生徒</p> <p>【カリキュラム満足度80%】 (平成30年度72.3%)生徒 (授業アンケート:3.11 3.15)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科における AL 型の研究授業実施 講習や学習イベントへの参加 国公立大学および関関同立合格者:延べ100人以上 <p>看護・医療系、公務員等生徒の系統別講習の実施</p>	<p>学校教育自己診断(生徒)の授業に関する項目は目標を達成した。授業満足77.5%()授業工夫83.9%()カリキュラム満足77.7%()</p> <p>授業アンケート教員平均値は第1回3.19、第2回3.22と過去最高値に達して目標の3.15を大きく上回った。()</p> <p>全教科でAL型の研究授業を実施して教員の意識を高めた。()</p> <p>進学実績 39人(H29:74人:H30:70人、R1:39人)()</p> <p>1年生、2年生は系統別進路講習を実施、3年生は進路別に随時講習を実施した。()</p>
2 キャリア教育のための環境づくり	<p>(1) 将来の生き方を考えることができるプログラムを展開する。</p> <p>ア. 地域連携、国際交流の充実に向けた体制整備</p> <p>イ. 当面の進路決定に必要なプログラムの準備</p> <p>ウ. 読書活動の推進</p> <p>エ. 「さやまスタンダード」の徹底</p> <p>(2) 人権尊重意識の向上に取り組む。</p> <p>ア. 多様な人権教育の推進と適切な対応</p> <p>(3) 学校生活の充実に向けた体制づくりに取組む。</p> <p>ア. 相談体制の明確化及び確立</p> <p>イ. 部活動、学校行事のさらなる活性化</p>	<p>(キャリア教育)</p> <p>キャリア教育を「生きること、学ぶこと、将来の職業を一体化させること」ととらえ、狭山生に自発・自律した人間として早期に目標を持たせ、将来の生き方を考えさせる。</p> <p>ア. 狭山池まつり等の地域活動を通じて、また幼・小・中学校との連携を通じてボランティアの意味を考えさせる。また、国際交流活動を充実させ、Global(国際交流+地域連携)の更なる発展を実現する。</p> <p>イ. キャリアガイダンス等進路選択に必要なプログラムを用いて、進路指導室、自習室をさらに活用する。</p> <p>ウ. マイメモリーを用いた読書活動を通じ、読書習慣を身につけさせる。また、学校図書を有効に活用し、読書活動を推進するとともに、ビブリオバトルでその成果を確認する。</p> <p>エ. 狭山生として必要なルール(挨拶、清掃、ルール遵守)を徹底し笑顔あふれる綺麗な学校を創る。</p> <p>(人権)</p> <p>ア. 全ての生徒の人権意識を高め多様性を認め合う生徒集団を作り「ともに学ぶともに育つ」を考え実践する。</p> <p>(相談体制)</p> <p>ア. 学校としての相談体制をより強固にして教職員全員で情報共有と生徒の課題を解決する相談体制を充実・発展させる。</p> <p>イ. 部活動、生徒会活動等の活性化と参画の継続を図ると共に、途中で退部した生徒のフォローに努める。</p>	<p>【 】は学校教育自己診断による</p> <p>【キャリア教育満足度80%以上】 (平成30年度75.6%):生徒</p> <p>【地域連携参加50%以上】 (平成30年度51.7%):生徒</p> <p>【国際交流参画意識65%以上】 (平成30年度66.5%):生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ビブリオバトル本大会出場3回目をめざす。 遅刻件数1,200件以内(H30年度929件) <p>【学校生活満足度80%以上】 (平成30年度78.2%):生徒 (平成30年度88.5%):保護者</p> <p>【人権意識80%】 (平成30年度77.7%):生徒</p> <p>【相談体制の満足度80%】 (平成30年度人間関係88.7%)生徒</p> <p>(平成30年度カウンセリングマインドを持った対応78%)教職員 (平成30年度気軽に相談66.9%)保護者</p> <p>【部活動/学校行事満足度90%】 (平成30年度部活動68.4%,学校行事83.3%)</p>	<p>学校教育自己診断(生徒)によれば、キャリア教育満足度81.9%(+6.3p)地域連携参加65.6%(+13.9p)、国際交流参画意識73.5%(+7p)と肯定的な評価が、いずれも昨年度を上回り当初の目標を達成した。()</p> <p>ビブリオバトル大会に参加したがもう一歩のところまで本大会に進出できなかった。()</p> <p>遅刻件数673件()</p> <p>学校生活満足度は生徒83.3%(+5.1p)保護者89.6%(+1.1p)と高い数値を示し目標を達成した。()</p> <p>人権意識(人権学習)は81.9%(+4.2p)が肯定的な意見であり学校全体や学年毎の人権学習の成果が見られた。()</p> <p>相談体制では生徒間の人間関係は良好である。92.9%(+4.2p)教職員のカウンセリングマインドを持った対応は75%(-3p)保護者の気軽に相談できる71.4%(+4.5p)となった。()</p> <p>部活動/学校行事は69.4%(+1p)行事は84.1%(+0.8p)と微増であった。途中退部者には、理由により顧問の面談や他の部員による説得に努めた()</p>
3 学校改革に向けての盤石な体制づくり	<p>(1) 教職員全員が当事者意識を持って学校経営に参加する体制づくりに取組む。</p> <p>ア. 経営会議による学校改革のPDCA推進と学校の将来像の検討提案</p> <p>イ. いじめ・体罰「0」を継続するため教職員間で人権意識を高める</p> <p>ウ. 命を守る防災教育の推進並びに安否確認方法の確立</p> <p>エ. 創立40周年実行委員会の定期開催により進捗状況の共有を行う</p> <p>オ. 教職員間の協力体制をさらに強固にし「チームさやま」で全員参加の学校経営を推進</p> <p>(2) PTA、同窓会等活動の活性化に取り組む。</p>	<p>ア. H31年度は新学習指導要領移行期間に入り総合的な探求の時間及び道徳教育推進教師を中心とした道徳教育に教職員が一致協力して事にあたる。</p> <p>イ. 安全・安心の学びづくりのため人権意識を高め努々いじめ・が生起しない確固たる組織づくりを行い万が一いじめ・体罰事象・差別事象が生じた場合に正確かつスピーディーな対応を行う。</p> <p>ウ. 自然災害から身を守る防災教育を推進すると共に大規模自然災害発生時の生徒の安全確保と安否確認方法を確立する。</p> <p>エ. 2019年10月の創立40周年記念行事を学校全体で一致協力して教職員が総がかりで成功に導く。</p> <p>オ. 学年・分掌・教科で行う職務において「チームさやま」をより強固なものにし一致協力して遂行することで各人の職務の平準化・効率化を図る。</p> <p>ア. PTA、後援会及び同窓会との一体化を高め、学校の応援団としての活動の活性化を促進する。</p>	<p>【 】は学校教育自己診断による</p> <p>【人権意識70%以上】 (平成30年度73%):教職員</p> <p>【いじめ(真剣な対応)80%】 (平成30年度72.1%):生徒</p> <p>【いじめ(体制と迅速な対応)80%以上】 (平成30年度82.7%):教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震・火災を想定した年2回の防災訓練時に台風も含めた命を守る防災教育を実施する。 SNSや民間のメーリングサービス等を通じた安否確認方法を検討しH31年度から実施予定。 創立40周年記念行事を成功させる。 <p>【勤務の充実度90%】 (平成30年度86.8%):教職員</p>	<p>教職員の学校全体での人権に対する取り組みの肯定的評価は76.5%(+3.5p)となり目標を上回った。()</p> <p>いじめ対応については生徒81.4%(+9.3p)、教職員78.8%(-3.9p)とほぼ目標を達成した。引き続きいじめが生起しないよう努めると共に発生時の組織的な対応を徹底する。()</p> <p>防災訓練は計画通り火災と地震について行い命を守る教育の一端を担った()</p> <p>40周年記念行事は大阪狭山市長をはじめ多くの来賓にご臨席いただき内容も良く成功した。また、同窓会・PTAのご支援により食堂や教育設備がさらに充実した()</p> <p>勤務満足度は81.1%(-5.7p)と減少したが引き続きチーム狭山として一体感を持って校務を推進したい。()</p>